

アクシャヤ・トリティヤを祝って

2023 年4月 22 日 土曜日

シャーンバヴィー・クリスチャン

シッダ・ヨーガの道では、私たちのグルたちは、それぞれの瞬間を吉兆を運んでくるものと見なすよう教えてきました。インドでは、吉兆という言葉は大変に意義深く神聖なものとして、敬われ、理解され、信奉されています。従って、アクシャヤ・トリティヤを祝うのは、非常に力強いことです。なぜでしょうか。インドの数々の教典は、この日を称賛し、アクシャヤ・トリティヤのあらゆる瞬間は吉兆であると説明しています。

アクシャヤとは、サンスクリット語で「永遠」あるいは「不滅」を意味します。そしてインドの太陰暦では、トリティヤとは、西洋の暦の4月または5月に当たるヴァイシャカ月の新月から3日目を意味します。アクシャヤ・トリティヤとは、一年に3日半ある最も縁起がいい日のうちの一つと考えられています。

インドの占星術によれば、アクシャヤ・トリティヤの日に、太陽と月が最も利益をもたらすように一直線に並び、明るく輝きます。信仰心の厚いヒンズー教徒たちの多くは、この日に結婚式などの重要な行事を執り行ったり、新しいプロジェクトや思い切った事業を始めることを選びます。

いつものように、シッダ・ヨーガの道では、吉兆の日ならいつでも、それはシッダ・ヨーガの修行を遂行するまさに最良の日であることを、すべてのシッダ・ヨーギたちは知っています。その理由は、そのような日には、修行の効果は飛躍的に増加するからです。これは単なる比喩的な言説ではありません。吉兆の日には、大気の中に行き渡る高められたエネルギーがあるのです。

インドの数々の教典は、アクシャヤ・トリティヤに関連する伝説、物語、吉兆の出来事にあふれています。その教典によって、インドの多様な神々、賢人、預言者、神聖な場所について読むことができます。例えば、最も偉大な賢人の一人であるパラシュラーマ、すなわちヴィシュヌ神の6番目の化身であった不滅の戦士の誕生日は、この日に祝われます。

アクシャヤ・トリティヤはまた、崇敬される賢人のヴェーダ・ヴィヤーサが、『マハーバーラタ』の創作を始めた日でもあります。そして、数々のプラーナによれば、この日はトレーター・ユガという人類の四つのユガ——時代——の2番目の始まりを示します。『マハーバーラタ』の中の大変美しい物語の一つは、パーンダヴァたちがアクシャヤ・パートラ、神聖な器を、この日にクリシュナ神から受け取った様子を描いています。アクシャヤ・パートラはパーンダヴァたちが追放の時を送る間、彼らに食べ物を無限に提供しました。

こうしたことから、多くの人はこの吉兆の日に得たものは何でも飛躍的に増加すると信じています。それ故、別の物語によれば、アクシャヤ・トリティヤの日に、女神マハーラクシュミーを信奉する人は伝統的に、女神への特別なプージャを行います。この日多くの人々は金や銀の硬貨や装飾品を購入し、それによって自分たちの生命の中の神聖な体の光を再現し、天と地、神聖なものと個の魂を結び付け、そして一体性を象徴します。

